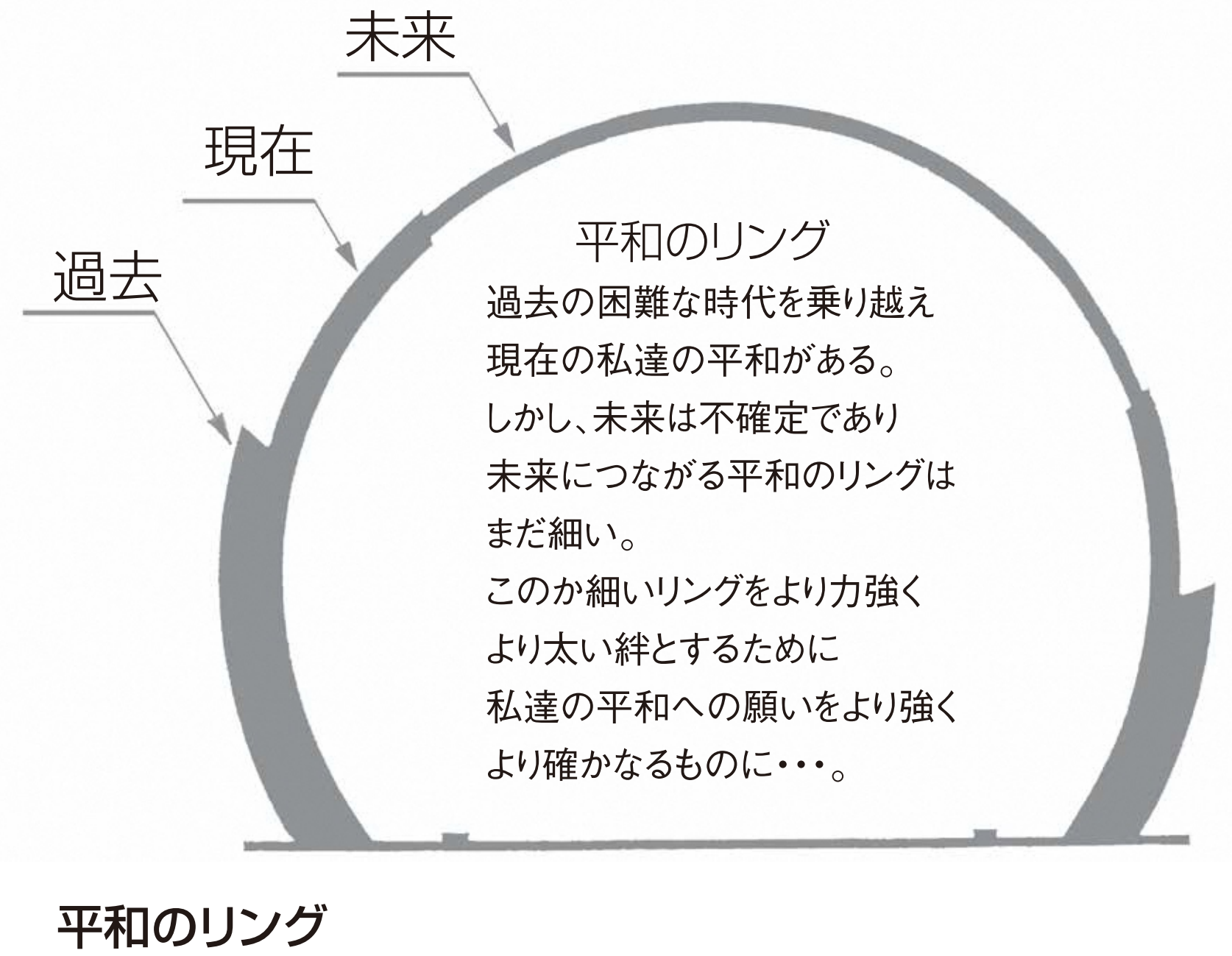


ひ かく へい わ せん げん と し に し と う き ょ う し 非核・平和宣言都市 西東京市



田無駅北口は、1945(昭和20)年4月12日の空襲で50名以上が亡くなった場所です。戦後、13回忌にあたる1957(昭和32)年4月に「戦災者慰霊塔」が建立されましたが、駅前再開発により慰霊塔は1992(平成4)年に総持寺に移設され、新たな平和のシンボルとして「平和のリング」が建設されました。

旧田無市は1984(昭和59)年8月に「非核・平和都市宣言」を、旧保谷市は1982(昭和57)年10月に「憲法擁護・非核都市の宣言」を行い、両市とも平和事業に取り組んできました。2001(平成13)年1月、合併により西東京市が誕生し、翌年1月、西東京市として新たに「非核・平和都市宣言」を行いました。

非核・平和都市宣言

私たちは生きている。
おおくの人々が、それぞれの習慣や宗教をもち
様々な考え方と、異なる環境の下で生活している
この地球上で

私たちは持っている。
この地球上で、健康で幸せな生活をする権利を
異なる考え方の人々を差別しない義務を

私たちは知っている。
おおくの人々が、今なお戦争で傷つき命を失っていることを
住みなれた平和な生活の場を追われて飢えていることを

私たちは訴える。
必要なのは笑顔での話し合いであることを
必要なのは人類愛と思いやりであることを

私たちは宣言する。
あらゆる人を傷つける地雷や武器をなくすことを
あらゆるものの破滅を招く核兵器をなくすことを
地球上から戦争をなくすことを

私たち市民のこの声と願いを
世界に広く訴えるために
非核・平和都市 西東京市の
宣言とする。

平成14年1月21日
西東京市

西東京市 非核・平和都市宣言



西東京市宣言塔マップ

市内6ヶ所に宣言塔を配置しています。